Volt 2 Gen 2

Volt 2 Gen 2 ハードウェアマニュアル



本記事には、Universal Audio Volt 2 Gen 2ハードウェアのコントロールと接続に関する詳細な操作手順が記載されています。

はじめに
Voltクイックスタート
Voltの使用
Volt 2 Gen 2ハードウェアの説明
Voltを工場出荷時の状態にリセットする
Volt 2 Gen 2の仕様
注意事項

はじめに

Volt 2は、Tone Shapingプリアンプとスマートディスプレイを搭載した次世代のモバイルUSBオーディオインターフェイスであり、音楽クリエイターにプロスタジオのサウンドと直感的で簡単なコントロールを提供します。

伝説的なApolloインターフェイスを手掛けたチームによって開発されたVolt 2は、レコーディングを驚くほど簡単にします。Mac、Windows、iPad、iPhoneで数分でセットアップを完了し、すぐに使用を開始できます。Auto-Gainを使用して、ボーカル、ギター、ステレオ楽器のレベルを完璧に設定できます。
さらにミックス時には、数々の賞を受賞したUADプラグインスイートとLUNA DAWをご利用いただけます。

主な利点

- **Tone Shapingプリアンプ。**デモではなく、レコードのような豊かなキャラクターを得ることができます。
- **フル32ビットオーディオ。**伝説的なUAのクオリティにより、驚くほど細部までパフォーマンスのサウンドを聴き取ることができます。
- **デュアルマイク＆インストゥルメント入力。**ボーカルと楽器を同時に録音できます。
- **スマートディスプレイ。**明るく見やすい視覚的フィードバックにより、チャンネルの選択とレベルの設定をすばやく行うことができます。

- **Auto-Gainとクリッププロテクション。**シグナルのピークでテイクが台無しになる心配はもうありません。
- **モバイル対応。**USBバスパワーによりどこでも録音可能 — 外部電源は不要です。*
- **簡単な操作。**すばやく接続し、お気に入りの音楽アプリを使って録音できます。
- **プレミアムなUADソフトウェア。**プロが使用するのと同じEQ、コンプレッサー、シンセサイザー、ギターアンプに加えて、数々の賞を受賞したLUNA DAWが付属します。

機能

- プロフェッショナルな32ビット／192 kHzのオーディオ変換を備えた、2イン／4アウトのUSBオーディオインターフェイス
- クラシックなアナログマイクプリアンプのサウンドを実現する、60 dBのゲインと3つのキャラクターモード（Warmth、Focus、Shine）を備えた2基のTone Shapingプリアンプ
- ボーカルと楽器の同時録音、またはステレオ録音に対応する、2基のフロントパネルHi-Zインストゥルメント入力を備えた2系統のマイク／ライン入力
- 入力、レベル、設定を明るく表示し、一目で確認できるフルカラーのスマートディスプレイ
- 常に完璧な録音レベルを実現するAuto-Gainとクリッププロテクション
- セッションリコールや低レイテンシーのキューミックスを含む、UAD ConsoleアプリおよびLUNA DAWとの完全な統合
- ポッドキャスト、ストリーミング、コンテンツ制作のための内蔵ループバック機能
- コンデンサーマイク用の、各チャンネルに独立した48Vファンタム電源
- Mac、Windows、iPad、iPhone*で簡単にセットアップできる、USBバスパワー駆動およびクラスコンプライアント対応
- 長年の使用に耐えるように設計された、スタイリッシュで頑丈な構造

**Windowsシステムでは、UA Connectアプリで提供されるASIOドライバーを使用します。バスパワーの要件はモデルやデバイスによって異なります。Lightningデバイスには、Apple Lightning - USBカメラアダプタが必要です。*

Voltクイックスタート

始めるには、Voltの登録、アップデート、付属ソフトウェアやプラグインのインストールを管理するUniversal Audioのアプリ、UA Connectをインストールしてください。Voltを初めて接続した際に、UA Connectのオンボーディングチュートリアルが新しいハードウェアのセットアップをサポートします。

手動でセットアップを始める場合は、本セクションの指示とリファレンスに従ってください。

Voltのドキュメントについて

- ハードウェアのセットアップおよび操作手順については、本マニュアルを参照してください。
- ソフトウェアの設定および操作手順については、UAD Consoleマニュアルを参照してください。
- UA ConnectでVoltを登録し、付属ソフトウェアを入手するには、Voltインターフェイスのセットアップ方法を参照してください。

システム要件

Voltのシステム要件については、こちらをご覧ください。

はじめに

セットアップを始めるには、以下の手順に従ってください。

ハードウェアのインストール

1. Voltを平らな場所に置きます。
2. VoltのHOSTポートをコンピューターのUSB 2.0以上のポートに接続します。Voltには USB-C - USB-Cケーブルが付属しています。

ソフトウェアのインストール

1. uaudio.com/volt/startからUA Connectアプリをダウンロードしてインストールします。
2. UA Connectを起動し、アプリ内の指示に従ってVoltハードウェアを登録およびセットアップします。
3. ファームウェアのアップデートが利用可能な場合は、インストールします。
4. UA ConnectからUAD Consoleアプリをダウンロードしてインストールします。

注意：Windowsシステムで最適なパフォーマンスを得るには、UA Connect経由でVoltドライバーをインストールしてください。MacおよびiOS/iPadではドライバーは必要ありません。

Voltの使用方法

Voltの機能の使用方法については、本セクションの概要に従ってください。詳細については、ハードウェアの説明セクションに記載されています。

Voltの接続

モニタースピーカー、ヘッドフォン、および入力機器をVoltに接続します。詳細については、Voltの接続の項目を参照してください。

コントロールの概要

Voltのフロントパネルには、6つのプッシュボタンと、プッシュ機能付きの大型ノブという2種類のコントロールがあります。

各ボタンには専用の機能があり、ラベルの色でアクティブな状態を示します。ノブは (その他の機能に加え),、MonitorsまたはHeadphonesがアクティブな場合は出力音量とミュートを、プリアンプ入力が選択されている場合はゲインとチャンネルリンクを調整します。ディスプレイには、現在の選択に応じて入力および出力情報が表示されます。

ヒント：コントロールは、Volt Gen 2、Volt Max、およびVolt 876ハードウェアのコンパニオンアプリであるUAD Consoleでも調整できます。

出力音量の選択と調整

Voltのモニターとヘッドフォンの出力音量は、それぞれ独立して調整できます。出力音量を調整するには、まずMonitor/Headphoneボタンで出力を選択し、次にノブを使って音量を調整します。

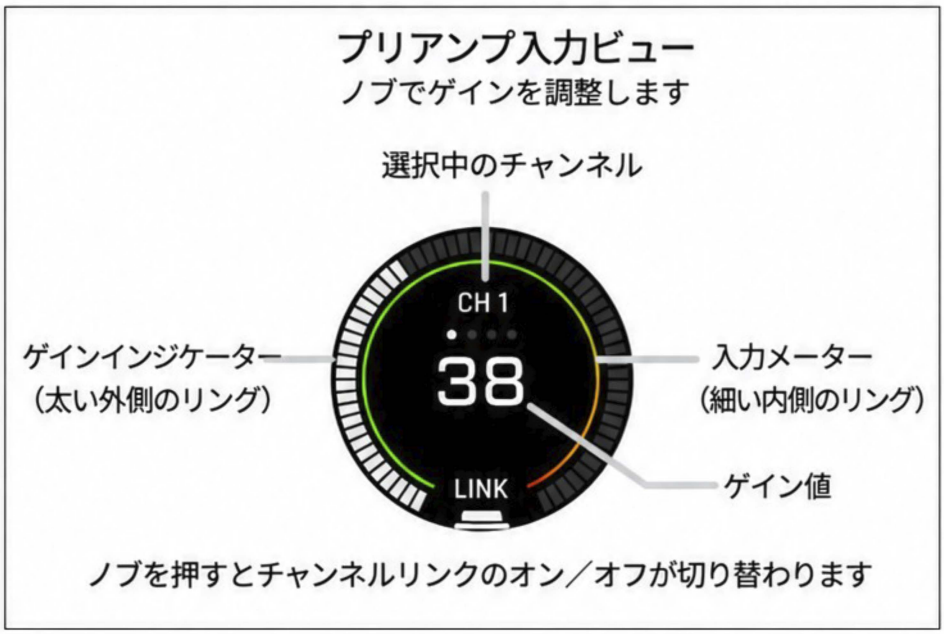


モニターモードの概要

- モニター出力とヘッドホン出力を切り替えるには、Monitor/Headphone ボタンを押してから、ノブを回して選択した出力のボリュームを調整します。
- 現在の選択は、ボタンラベルの色とディスプレイに表示されます。モニターが選択されている場合は、ボタンラベルとスピーカーアイコンが緑色になります。ヘッドホンが選択されている場合は、ボタンラベルとヘッドホンアイコンがアンバー色になります。
- 出力のミュートをオン／オフするには、ノブを押します。ミュート時は外側のボリュームリングが赤色になります。
- ヘッドホン／モニターモードがアクティブな場合、INPUT以外のすべてのボタンラベルは暗くなります。

入力の選択とプリアンプゲインの調整

Voltには独立したコントロールを備えた複数の入力チャンネルがあります。チャンネルのプリアンプゲインを調整するには、まずINPUTボタンでチャンネルを選択し、ノブでゲインを調整します。入力が選択されている場合、各ボタンはその入力チャンネルをコントロールします。



プリアンプ入力ビュー

- ゲインを調整するには、ディスプレイにプリアンプのチャンネル番号が表示されるまでINPUTボタンを繰り返し押し、ノブを回します。
- 細い緑色の内側のリングは、チャンネルの入力信号レベルメーターです。入力信号がレッドゾーンでピークに達した場合は、プリアンプのゲインを下げるか、入力に接続されているデバイスの出力レベルを下げてください。
- プリアンプのゲインを自動的に設定するには、AUTOボタンを押します。

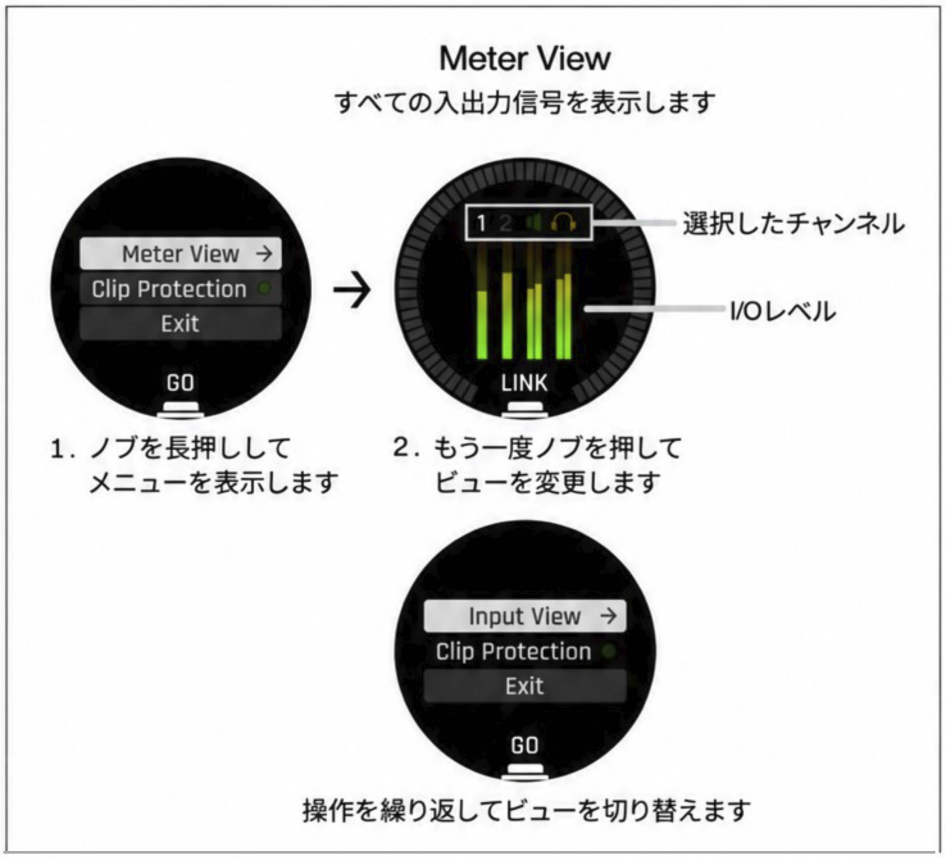
注意：ゲインを調整できるのはプリアンプチャンネルのみです。ライン入力の入力レベルを設定するには、入力に接続されているソースデバイスの出力レベルを調整してください。



メータービューの選択

メータービューでは、すべての入力と出力の信号レベルが同時に表示されます。メータービューを表示したままでも、INPUTボタンを押して入力を順番に切り替えたり、Monitor/Headphoneボタンを押して出力を切り替えたりすることで、チャンネルのコントロールや出力ボリュームの調整が可能です。

現在選択されている入力または出力チャンネルはメーターの上部に点灯し、そのチャンネルのゲインまたはボリュームは外側のレベルリングで示されます。



Meter View

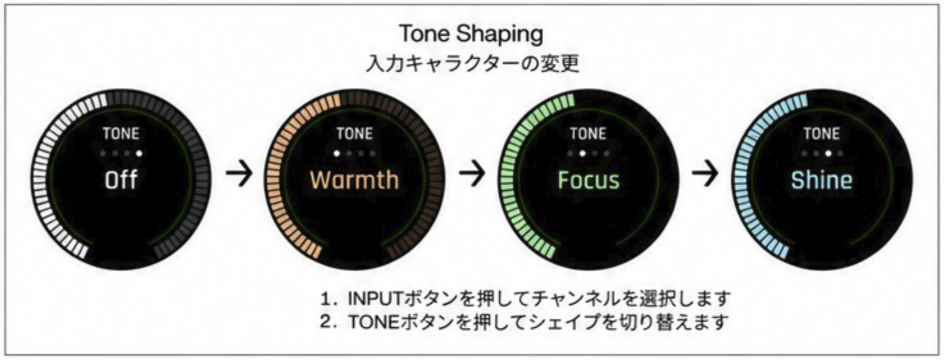
- Meter Viewに入るには、ノブを長押ししてメニューを表示し、Meter Viewがハイライトされている状態でノブを押します。
- Meter Viewを終了するには、ノブを長押ししてメニューを表示し、Input Viewがハイライトされている状態でノブを押します。

Toneの選択

Voltのすべてのアナログ入力には、クラシックなアナログマイクプリアンプのサウンドを実現する、3つのキャラクターモード（Warmth、Focus、Shine）を備えたTone Shaping機能が搭載されています。各モードには、アナログハードウェアに由来するEQカーブが含まれています。

利用可能なToneを切り替えるには、INPUTボタンを押して任意のチャンネルを選択し、TONEボタンを繰り返し押します。

ヒント：UAD ConsoleでToneを選択することもできます [link to UAD Console Tones article]。



Tone Shaping

- ディスプレイ外側のリングとTONEボタンのラベルの色は、現在の設定を反映して変化します。リングとボタンのラベルの色が白の場合、Tone Shapingはオフになっています。トーンリングとボタンの色は、入力チャンネルの選択に連動します。

以下の3種類のトーンを利用できます：

- **OFF（白）**：Tone Shapingなし。
- **Warmth（アンバー）**：Universal Audio / UA 610チューブプリアンプを彷彿とさせる、柔らかなトランジェントと滑らかさを備えたヴィンテージチューブの温もり。
- **Focus（緑）**：クラシックなアメリカン・ソリッドステート・コンソールを彷彿とさせる、フォーカスと明瞭さを備えたパンチのあるトランジェント。ドラム、ギター、ベースに最適です。
- **Shine（青）**：伝統的なブリティッシュClass-Aコンソールを彷彿とさせる、シルキーなトップエンドを備えた、音楽的で豊かなサウンド。

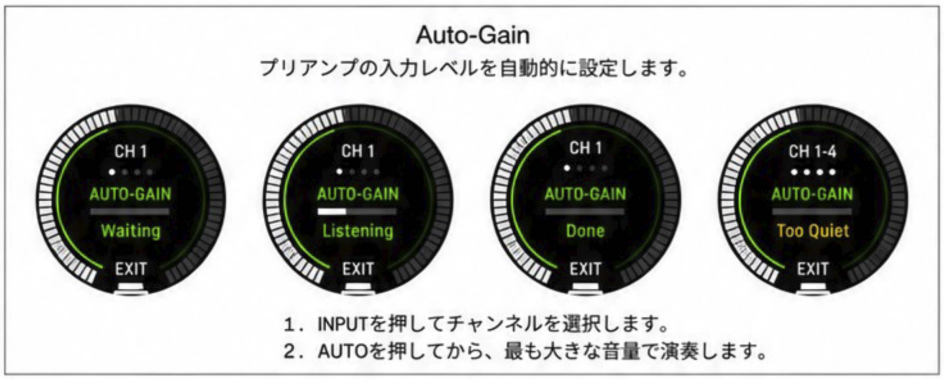
Auto-Gainの使い方

Auto-Gainは、入力信号に対して最適なプリアンプゲインを自動的に設定します。これにより、手動で調整する手間を省き、常に適切なレベルで確実な録音を行うことができます。

単一のプリアンプチャンネル、またはリンクされたチャンネルのゲインを自動的に設定するには：

1. INPUTボタンを押して、目的のチャンネルを選択します。
2. AUTOボタンを押します。ディスプレイにWaitingと表示されます。
3. 最も大きな音量で10秒以上演奏するか、歌います。ディスプレイにListeningとプログレスバーが表示されます。

Auto-Gainが完了すると（10秒後）、レベルが設定され、ディスプレイは前の画面に戻ります。



Auto-Gainのディスプレイ状態

Auto-Gainのヒント

- すべてのプリアンプで同時にAuto-Gainを使用するには、AUTOを長押しします。
- 入力信号のレベルが不十分な場合、ディスプレイに「Too Quiet」と表示されます。その場合は、より大きな声で歌うか、より大きな音量で演奏するか、または入力に接続されているデバイスの出力レベルを上げてください。
- UAD ConsoleでAuto-Gainを開始し、関連する設定を調整することもできます。
- Auto-Gainは、録音のためにプリアンプのレベルを自動的に調整します。聴覚へのダメージを防ぐため、先に進む前にモニターレベルが安全な音量に設定されていることを確認してください。

ダイレクトモニタリングの使用

ダイレクトモニタリングでは、DAW経由でモニタリングする代わりに、入力信号をモニター出力やヘッドフォン出力へ直接送ります。ダイレクトモニタリングを使用すると、レイテンシーを感じることなく、ライブ入力をリアルタイムで聴くことができます。ダイレクトモニタリングを使用しない場合、入力にはDAWのバッファリングによるレイテンシーが発生します。

ダイレクトモニタリングのオン／オフ

- 選択したチャンネルのダイレクトモニタリングをオン／オフするには、DIRECTボタンを押します。
- すべてのチャンネルのダイレクトモニタリングをオン／オフするには、DIRECTボタンを長押しします。

チャンネルのダイレクトモニタリングがオンの場合、DIRECTボタンのラベルは緑色になり、オフの場合は白色になります。また、機能を切り替えると、ディスプレイにもその状態が一時的に表示されます。



Directのオフとオン

ダイレクトモニタリングを使用する理由

ダイレクトモニタリング（ハードウェアモニタリングとも呼ばれます）を使用すると、DAWを完全にバイパスし、Tone Shapingが適用された入力信号をVoltハードウェアから直接、レイテンシーなしで聴くことができます。

DirectをオフにしてDAW経由で入力信号をモニタリング（ソフトウェアモニタリング）する場合、信号はDAWを通過してからVoltのモニター出力およびヘッドフォン出力に送られます。この信号はDAWのI/Oバッファーを使用するため、レイテンシー（バッファーサイズが大きくなるほど増加する遅延）が発生します。

DAW経由でモニタリングしたくないソースを録音する場合（たとえば、DAWでのプラグイン処理は適用せず、VoltのTone Shapingを含めてボーカルや楽器を録音する場合など）は、ダイレクトモニタリングを使用してください。

ダイレクトモニタリングに関する注意点

- Directには、入力のTone Shapingが含まれます（チャンネルで有効になっている場合）。
- Directがオンの場合、入力音が薄くなったり「フェイジー」に聴こえたりする原因となる信号の二重化を防ぐため、DAWのソフトウェアモニタリング機能を無効にしてください。
- Directがオフの場合、DAWでのバッファリングと信号処理の結果として、入力音が聴こえるまでにレイテンシー（わずかな遅延）が生じる場合があります。
- DAWに読み込まれたプラグインによる処理が適用された入力信号を聴きたい場合は、Directをオフにしてください。
- Directのオン／オフ状態に関係なく、入力信号は録音のために常にDAWへ送信されます。

UAD ConsoleでのDirectの使用

- UAD Consoleでは、Directがオンのときにインプットのミュートが解除され、Directがオフのときにミュートされます。
- UAD Consoleで1つ以上のチャンネルがソロになっている場合、他のチャンネルのダイレクトモニタリング信号は聞こえません。
- Directがオンの場合、インプットレベル、パン、CueセンドをUAD Consoleでコントロールできます。詳細については、UAD Consoleマニュアルを参照してください。

インプットチャンネルのリンク

ステレオ動作用にインプットチャンネルをリンクできます。インプットがリンクされると、チャンネル設定が両方のインプットに適用され、チャンネルペアはモニターバスで左右にパンニングされます。

隣接するチャンネルのリンクとリンク解除

- ノブを1回押すか、INPUTボタンを長押しします。
- チャンネルのリンクを解除するには、もう一度ノブを押すか、INPUTボタンをもう一度長押しします。

リンクに関する注意事項

- 隣接するチャンネルペアのみリンクできます。
- 異なるインプットタイプ（例：1/4"とXLR）のチャンネルをリンクすることはできません。互換性のないチャンネルをリンクしようとすると、INPUTラベルが赤く点滅し、ディスプレイにInput Mismatchと表示されます。
- リンクされたペアの一方のチャンネルのプラグを抜いても、本体またはUAD Consoleでチャンネルのリンクを解除するか、別のタイプのインプットを接続するまでリンクは維持されます。

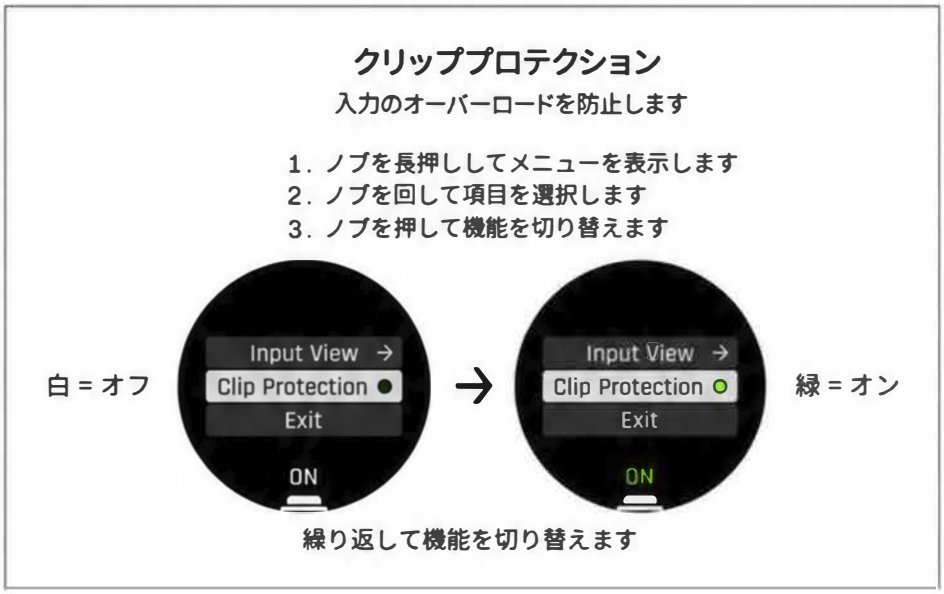


クリッププロテクションによるオーディオクリッピングの防止

クリッププロテクションは、プリアンプのインプットにおける予期せぬ大音量の信号が、録音中にクリッピングやオーバーロードによる歪みを引き起こすのを防ぎます。クリッププロテクションはデフォルトでオンになっていますが、Volt本体のメニュー、またはUAD Consoleの設定から無効にすることができます。

クリッププロテクションのオン／オフを切り替える

1. メニューが表示されるまでノブを長押しします。
2. ノブを回してクリッププロテクションのメニュー項目をハイライトし、ノブを押して状態を切り替えます。
3. 有効になると、メニュー項目の横に緑色のドットが表示され、ONが緑色に点灯します。



クリッププロテクションのメニュー項目

クリッププロテクションの仕組み

Voltのクリッププロテクションは、入力ゲインステージングとソフトウェアリミッティングを適用してクリッピングを防止します。

Voltの接続について

最良の結果を得るために、以下のケーブルを使用してください：

- ギターまたはベースをフロントパネルのインストゥルメント入力に接続するための1/4" (6.35 mm) TS (tip-sleeve) ケーブル
- マイクをリアパネルのコンボジャック入力に接続するためのXLRケーブル
- キーボードやその他のラインレベルのオーディオソースをリアパネルのコンボジャック入力に接続するための1/4" TRS (tip-ring-sleeve) ケーブル
- ステレオモニタースピーカーやその他のオーディオ機器をリアパネルのモニターおよびライン出力に接続するための1/4" TRSケーブル
- ステレオヘッドフォンをフロントパネルのヘッドフォンジャックに接続するための1/4" TRS ヘッドフォンプラグ。ヘッドフォンに1/8" (3.5 mm) プラグがある場合は、1/8" TRSメスから1/4" TRSオスへの変換アダプターを使用してください。

バランス接続について

Voltのモニター／ライン出力および背面の1/4”コンボ入力ジャックは、バランス対応機器を接続するとバランス接続として機能します。最適な結果を得るには、TRS（バランス）オーディオケーブルを使用してください。バランス機器は3芯配線により干渉や電気的ノイズを低減し、ケーブルが長い場合でも高いオーディオ品質を維持します。TS（アンバランス）接続は、電気的干渉ノイズが問題にならない短い出力ケーブルに適しています。

Volt 2 Gen 2 ハードウェアの説明

このセクションでは、すべてのハードウェアコントロール、接続端子、およびインジケーターについて説明します。

Volt 2 Gen 2 フロントパネル



Volt 2 Gen 2 フロントパネル（引き出し線付き）

(1) インストゥルメント入力 1-2

ギター、ベース、その他のハイインピーダンス楽器をここに接続します。接続した場合、インストゥルメントジャックが背面パネルのXLR/TRS 1-2コンボジャックよりも優先されます。

ヒント：楽器の接続には、標準の1/4” TSインストゥルメントケーブルを使用してください。

(2) スマートディスプレイ

この丸いディスプレイには、選択した入力チャンネルや出力に関する情報が表示されます。

詳細については、「Using Your Volt」を参照してください。

(3) TONEボタン

選択した入力チャンネルにアナログスタイルのTone Shapingを適用します。

- 利用可能なToneを切り替えるには、INPUTボタンを押して任意のチャンネルを選択し、TONEボタンを繰り返し押します。

- スマートディスプレイの外側のリングとTONEボタンのラベルの色は、現在の設定を反映して変化します。リングとボタンのラベルの色が白色の場合、Tone Shapingはオフになっています。
- トーンリングとボタンの色は、入力チャンネルの選択に連動します。
- トーンはUAD Consoleで選択することもできます。

詳細については、「トーンの選択」を参照してください。

(4) 48Vボタン

選択中のリアパネルのXLR入力に接続されたコンデンサーマイクに、+48Vファンタム電源を供給します。ファンタム電源の供給処理中はラベルが赤色に点滅し、有効時は赤色に、無効時は白色に点灯します。

選択したチャンネルに1/4”プラグが接続されている場合、ファンタム電源は無効になります（ラベルは消灯します）。

注意：マイクを接続または取り外す前に、必ずファンタム電源を無効にしてください。ファンタム電源により、一部のリボンマイクが損傷する恐れがあります。

(5) INPUTボタン

画面に表示され、他のコントロールで調整するアクティブな入力チャンネルを選択します。繰り返し押すと入力が切り替わります。長押しすると、ステレオ操作のためにチャンネルをリンクまたはリンク解除します。

詳細については、「入力の選択とプリアンプゲインの調整」を参照してください。

(6) AUTOボタン

選択したチャンネルのAuto-Gainレベル検出を開始します。長押しすると、すべての入力に対して同時にAuto-Gainを設定します。詳細については、「Auto-Gainの使用」を参照してください。

ヒント：ギターやベースのモデリングプラグインに適切なレベルを設定するには、Hi-Zインストゥルメント入力に接続した楽器のゲインを最小（0）に設定してください。最適な結果を得るため、Hi-Zインストゥルメント入力に接続した楽器のレベル設定にはAuto-Gainを使用しないでください。

(7) DIRECTボタン

選択したチャンネルのダイレクトモニタリングをオン／オフするには、DIRECTボタンを押します。ダイレクトモニタリングでは、Tone処理を含む、モニタリング対象の入力からのオーディオを直接出力へ送ります。また、ダイレクトモニタリングはUAD Console内の入力チャンネルのミュートを解除します。

詳細については、「ダイレクトモニタリングの使用」を参照してください。

(8) Monitor/Headphoneボタン

ノブとディスプレイで操作・表示する出力を選択するには、このボタンを押します。このボタンを繰り返し押すと、モニター出力とヘッドフォン出力が切り替わります。Monitorが選択されている場合はボタンのラベルが緑色に点灯し、Headphonesが選択されている場合はアンバーに点灯します。

詳細については、「出力ボリュームの選択と調整」を参照してください。

(9) エンコーダーノブ

このノブは、現在選択されている機能に応じてさまざまな設定を調整するための、回転とプッシュボタンのデュアル機能コントロールです。

ノブを回して以下を調整します：

- プリアンプチャンネルが選択されている場合は、入力ゲイン
- モニター出力が選択されている場合は、モニターボリューム
- ヘッドフォン出力が選択されている場合は、ヘッドフォンボリューム

ライン入力が選択されている場合、ノブは無効になります。

ヒント：微調整を行うにはノブをゆっくり回し、より速く調整するにはすばやく回します。

ノブを押して以下の操作を行います：

- 入力が選択されている場合は、隣接するチャンネルをリンクします
- Monitorが選択されている場合は、モニター出力をミュートします
- Headphonesが選択されている場合は、ヘッドフォン出力をミュートします

ノブを長押しして以下の操作を行います：

- Input/Meter Viewとクリッププロテクションのメニューを表示します
- メニューが表示されているときにノブを回して、機能を選択します
- ノブを押して機能を切り替えるか、メニューを終了します

(10) ヘッドフォン出力ジャック

1/4"（6.35 mm）TRSプラグを使用して、この出力にステレオヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンのプラグが1/8"（3.5 mm）の場合は、1/8" TRSメス - 1/4" TRSオス変換アダプターを使用してください。

Volt 2 Gen 2 リアパネル



Volt 2 Gen 2 背面の各部名称

(11) XLR/TRSコンボ入力 1-2

2つのXLR/1/4"コンボジャックは、XLRまたは1/4"のTS/TRSプラグに対応しています。XLRおよび1/4"コンボジャック入力は、VoltプリアンプとTone Shapingを使用します。48Vファンタム電源はXLRジャックにのみ供給されます。

- XLRケーブルでマイクを接続します
- 1/4" TRSまたはTSケーブルでキーボードやその他のオーディオ機器を接続します
- INPUTボタンでチャンネルを選択し、ノブを回してコンボ入力のプリアンプゲインを調整します

注意：チャンネルの前面のインストゥルメントジャックにケーブルが接続されている場合、そのチャンネルのファンタム電源は無効になります。

(12) モニターL/R出力

ステレオスピーカーシステムをモニター出力に接続します。1/4" TSまたはTRSケーブルを使用して、左スピーカーをMON OUT 1/Lに、右スピーカーをMON OUT 2/Rに接続します。

注意：モニター出力には電源が供給されません。アクティブ（パワード）モニター、または専用のアンプとパッシブスピーカーが必要です。

モニター出力の音量を調整するには、まずMonitor/Headphoneボタンで出力を選択し、ノブを回します。

(13) USB-C HOSTポート

付属のUSB-Cケーブルまたはその他のデータケーブルを使用して、HOSTポートをコンピューターのUSB 2.0以上のポートに接続します。コンピューターのポートはUSB-CまたはUSB-Aのどちらでもかまいません。また、USB 2.0以上の任意のデータケーブルを使用できます。

iOSおよびiPadデバイスの場合、USB-Cケーブル（USB-Cポート搭載デバイス用）またはApple Lightning - USBカメラアダプタ（Lightningポート搭載デバイス用）を使用してVoltを接続します。

このポートに接続されたコンピューターからVoltにバスパワーが供給されます。

(14) USB-C 5VDCポート

VoltがUSB HOSTポートからのバスパワーだけで動作するのに十分な電力を受け取れない場合は、このポートを適切な5VDC USB電源に接続してください。

注意：Voltを認識させるには、コンピューターとVoltのHOSTポートを接続する必要があります。

(15) Kensingtonセキュリティポート

Kensington互換のセキュリティデバイスを使用して、Voltハードウェアを固定します。

Voltを工場出荷時の設定にリセットする

以下の手順に従って、Voltをデフォルト値にリセットしてください。

1. USBポートの接続を外し、Volt本体の電源を切ります。
2. TONEボタンと48Vボタンの両方を押したまま、USBポートを接続して本体の電源を入れます。
3. すべてのボタンの上にあるバックライト付きテキストが4回点滅するのを待ってから、ボタンを離します。

Volt 2 Gen 2 仕様

注意： すべての仕様は予告なく変更される場合があります。

システム

入出力構成

- マイク／ラインプリアンプ入力：コンボXLR/TRS 2系統
- インストゥルメント入力：¼” TS 2系統
- モニター出力：2系統
- ヘッドフォン出力：ステレオ1系統
- USB（Type-Cコネクター）：
    - USB 2.0ホストポート 1基（バスパワー対応）
    - USB 5VDC電源ポート 1基
- MIDI：入力、出力（3.5 mm Type-A 2系統）

A/D – D/A変換

- サポートされるサンプルレート（kHz）：44.1、48、88.2、96、176.4、192
- サンプルあたりのビット深度：32

- 同時A/D変換：2チャンネル
- 同時D/A変換：4チャンネル（メイン2、ステレオヘッドフォン1）

アナログI/O

マイク、ライン、インストゥルメント入力（ACカップリング）

- 利用可能なゲイン：60 dB
- トーンシェイピング（チャンネルごとに選択可能）：Warmth、Focus、Shine

マイク入力

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.08 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：119 dB
- 全高調波歪み＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-110 dB（0.0003 %）
- 最大入力レベル：14 dBu
- ファンタム電源：+48V（チャンネルごとに切り替え可能）
- コネクタータイプ：XLRメス、2番ホット

インストゥルメント入力

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.02 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：116 dB
- 全高調波歪み＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-108 dB（0.0004 %）
- 最大入力レベル：13 dBu
- 入力インピーダンス：1 Megohms
- コネクタータイプ：¼" TSアンバランス

ライン入力

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.05 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：119 dB
- 全高調波歪み＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-108 dB（0.0004 %）
- 最大入力レベル：22 dBu
- 入力インピーダンス：10 Kilohms
- コネクタータイプ：¼" TRSバランスまたはTSアンバランス

モニター出力（DCカップリング）

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.05 dB
- ダイナミックレンジ（Aウェイト）：126 dB
- 全高調波歪み＋ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS）：-112 dB（0.0003 %）
- 最大出力レベル：20.2 dBu
- 出力インピーダンス：200 Ohms
- コネクタータイプ：¼" TRSバランス

ステレオヘッドホン出力（DCカップリング）

- 周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz、±0.08 dB
- ダイナミックレンジ（300 Ohms、Aウェイト）：116 dB
- THD + ノイズ（1 kHz @ -1 dBFS、300 Ohms）： -103 dB（0.0007 %）
- 最大出力（32 Ohms）：1チャンネルあたり45 mW
- 最大出力（300 Ohms）：1チャンネルあたり24 mW
- コネクタータイプ：¼” TRSステレオ

電気仕様

- DC入力コネクタータイプ：USB-C
- DC要件：5VDC（Hostポート経由でバスパワー駆動可能）
- 消費電力（@5VDC）：標準3.4 W、最大4.9 W

環境仕様

- 周囲温度範囲：32°F ～ 104°F（0°C ～ 40°C）

物理仕様

寸法

- シャーシ（ノブを含む）：幅 × 奥行 × 高さ 7.4 × 4.9 × 2 in（18,7 × 12,5 × 5,1 cm）
- 梱包箱：幅 × 奥行 × 高さ 9.1 × 7.3 × 3.1 in（23,0 × 18,5 × 8,0 cm）

重量

- 出荷重量（箱と付属品を含む）：2.1 lbs（0.9 kg）
- 重量（本体のみ）：1.3 lbs（0.6 kg）

パッケージ内容

- Volt 2 Gen 2 USBオーディオインターフェイス
- USBケーブル（Type-C - Type-C、1m）
- 安全上のご注意
- エンドユーザー使用許諾契約書

注意事項



重要な安全上の注意事項

1. これらの安全上の指示および製品の取扱説明書をお読みください。
2. これらの安全上の指示および製品の取扱説明書を保管してください。製品を第三者に譲渡する場合は、必ずすべての指示書を添付してください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本機器を水の近くで使用しないでください。
6. 製品の清掃は、必ず電源を抜いた状態で行ってください。清掃には乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口を塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または熱を発生するその他の機器（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 本製品は、電源ユニットに記載されている仕様の電源でのみ使用してください。
10. 電源コード、特にプラグ、コンセント、および機器への接続部分が踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。
11. 製造元が指定した付属品／アクセサリーのみを使用してください。
12. 雷雨の際、または長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
13. すべての修理は、資格のあるサービス担当者にご依頼ください。電源コードやプラグの破損、機器への液体のこぼれや異物の落下、雨や湿気への曝露、正常に動作しない場合、または機器を落下させた場合など、機器が何らかの損傷を受けた場合には修理が必要です。
14. **警告：**火災や感電の危険を防ぐため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶など、液体の入った物を本機器の上に置かないでください。
15. 本機器をAC電源から完全に切断するには、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
16. 電源コードの主電源プラグは、すぐに手が届く状態にしておいてください。
17. 製品の筐体を開けようとしないでください。お客様ご自身で開けられた製品は、保証の対象外となります。
18. 電源を入れる前に、製品を周囲の温度に馴染ませてください。
19. **注意：**高い信号レベルは、聴覚やスピーカーに損傷を与える可能性があります。製品の電源を入れる前に、接続されているオーディオデバイスの音量を下げてください。これは、音響フィードバックの防止にも役立ちます。
20. **使用目的：**本製品は屋内での使用を目的として設計されています。本製品は商業目的で使用することができます。取扱説明書に記載されていない用途で製品を使用することは、不適切な使用とみなされます。ユニバーサル・オーディオ / Universal Audioは、本製品およびその付属品／アクセサリーの不適切な使用または誤用によって生じた損害について、一切の責任を負いません。製品を使用する前に、それぞれの国に固有の規制を遵守してください。

メーカー宣言

保証

本製品は限定保証の対象となります。最新の保証条件については、uaudio.com/eulaをご覧ください。



メンテナンス

- **注意**：感電の危険を防ぐため、本機を開けないでください。
- 本製品には、お客様ご自身で交換可能な部品やヒューズは含まれていません。本機は工場出荷時に内部調整されており、お客様による内部の調整はできません。

修理サービス

ハードウェアに問題が発生した場合は、まずシステムのセットアップ、接続、および取扱説明書をすべて確認してください。それでも解決しない場合は、当社のテクニカルサポートチームにお問い合わせください。

修理サービスに関する詳細、またはUniversal Audio / UAカスタマーケアへのお問い合わせについては、help.uaudio.comをご覧ください。

廃棄に関する注意事項

以下の要件に準拠しています：

WEEE指令（2012/19/EU）



製品、バッテリー／充電式バッテリー（該当する場合）、および／またはパッケージに記載されている、バツ印の付いた車輪付きゴミ箱のマークは、これらの製品を通常の家庭ゴミと一緒に廃棄してはならず、耐用年数が終了した際に分別して廃棄しなければならないことを示しています。パッケージの廃棄については、お住まいの国で適用される廃棄物分別の法的規制に従ってください。

これらの製品のリサイクルに関する詳細情報は、地方自治体または地域の回収窓口にお問い合わせください。廃電気電子機器、バッテリー／充電式バッテリー（該当する場合）、およびパッケージの分別収集は、再利用やリサイクルを促進し、潜在的な悪影響などを防ぐために実施されています。

これらは、本製品に含まれる有害物質に関するものです。これにより、お客様は環境保護と公衆衛生に重要な貢献をすることができます。

適合宣言

FCC：本デバイスはFCC規則第15部に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提とします：(1)本デバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、および (2)本デバイスが、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を許容しなければならないこと。

CANADA：カナダのICES-003クラスBに準拠しています / Conforme au reglement Canadien NMB-003 Classe B。

CE：本デバイスはテストの結果、EC電磁両立性指令2014/30/EUの制限に準拠していることが確認されています。

エンドユーザーライセンス契約

ソフトウェアに対するお客様の権利は、付属のエンドユーザーライセンス契約によって規定されています。この契約のコピーはwww.uaudio.com/eulaでご確認いただけます。

著作権および商標

© 2026 Universal Audio, Inc. 無断複写・転載を禁じます。「ユニバーサル・オーディオ / Universal Audio」という名称、Universal Audio / UAの「ダイヤモンド」ロゴ、および「Universal Audio / UA Volt」は、Universal Audio, Inc.の商標または登録商標です。ここに記載されているその他のすべての製品および商標は、それぞれの所有者に帰属します。

ASIOは、Steinberg Media Technologies GmbHの商標およびソフトウェアです。

免責事項

本マニュアルに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。Universal Audio, Inc.は、本マニュアルに関し、商品性および特定目的への適合性の黙示の保証を含め（ただしこれらに限定されません）、いかなる保証も行いません。Universal Audio, Inc.は、本マニュアルに含まれる誤り、または本資料の提供、性能、もしくは使用に起因する直接的、間接的、特別、付随的、または結果的な損害について、一切の責任を負わないものとします。